

学校評価に関する研修会 —事例発表—

学校法人西野学園
札幌医学技術福祉歯科専門学校
米田裕義

学校評価の流れと観点

1. 自己点検・評価

- 学校運営、教育活動が法令・規則に則っているか。
- 教育の目的、方針、計画が定められ、適切な方法で実施されているか。
- 社会に求められる知識・技能に対応した教育を行っているか。

2. 学校関係者評価

- 自己点検・評価の結果が適切か。
- 自己点検・評価を踏まえた改善方策が適切か。

3. 第3者評価

- 専門的な見地から学校の課題や対応を評価。

学校評価の目的と意義

教育活動等の評価が、組織を改善するための「**PDCA サイクル**」の中で、・・・中略・・・自主的な取組を促進していくこと(専修学校における学校評価ガイドライン)



- P: 教育計画、カリキュラム
 D: 教育活動の実践
 ・授業、実習の実施
 ・日常の点検、評価
 C: 学校評価
 ・自己点検、評価
 ・学校関係者評価
 ・第3者評価
 A: 教育課程、授業方法の変更

自己評価

学校関係者評価

教職員による評価

具体的かつ明確な目標等を設定し、
実行し、自ら評価する。



外部アンケート等

児童生徒・保護者等を対象に行うアンケート等による
評価であり、学校評価の資料等に活用する。

学校関係者による評価 (保護者・地域住民)

学校の教育活動の観察や意見交換
等を通じて、自己評価結果につい
て評価する。

これにより、教職員と共通理解を
もつとともに、学校の改善のため
に教職員と連携・協力する。

事例紹介

1. 自己点検・評価
2. 学校関係者評価
3. その他

1. 自己点検・評価

(1) 学校運営に関する自己点検・評価

養成施設指定規則に対する法令順守状況

- 「自己点検表」による自己点検
- 内部監査、教学監査による自己点検

(2) 教育活動に関する自己点検・評価

「わかる授業」に関する活動、調査

- 授業アンケート(学生による授業の評価)
- 公開授業(専任教員・非常勤講師の授業検討)
- 学生、教員に対するアンケート

(3) 学校評価ガイドラインに基づく自己点検・評価

(4) 事業所ヒアリング(就職先との意見交換)

日常業務を
行いながら
の点検

学校評価と
しての自己
点検・評価

(1)学校運営に関する自己点検評価 養成施設指定規則に対する法令順守状況

理学療法士養成施設自己点検表

点検事項		根拠規定	確認書類(例)	適合 適 否	事由(否の場合のみ)
1 学則等の内容に関する事項	1 学則に以下の事項が明示されているか。 ア 修業年限、学年、学期及び授業を行わない日(休業日) イ 部課及び課程の組織 ウ 教育課程及び授業日時数 エ 学卒の評価及び課程終了の認定 オ 収容定員及び職員組織 カ 入学、退学、転学、休学及び卒業	(学校教育法 施行規則4条)	・学則 ・カリキュラム表 ・シラバス ・議事記録		

自己点検表(H26年度北海道厚生局作成)
厚生労働省所管の養成施設については、北海道厚生局より養成施設指定規則に基づいた「**自己点検表**」が提示され、毎年1回自己点検を行うことが強く勧められている。

自己点検表(H26年度北海道厚生局作成)

3 教員に関する事項			
(1) 例	<p>・教育内容を教授するのに適当な数の教員を有しているか。</p> <p>・勤務実態はあるか。</p>		
	<p>であることを原則とすること。</p>		
(2) 教員講習会	<p>専任教員のうち理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会を未受講の者については受講するよう指導する。</p>		
(3)	<p>教員調書</p>	<p>生勞</p>	<p>出勤簿</p>
	<p>教員履歴</p>	<p>証</p>	
	<p>就任承諾書</p>	<p>類)</p>	
	<p>資格証等の写し</p>	<p>類)</p>	
		<p>類)</p>	
		<p>類)</p>	
		<p>類)</p>	
		<p>類)</p>	
		<p>類)</p>	
		<p>類)</p>	

5	授業に関する事項		
(1) 授業の実施状況	1 各科目毎に授業が確実に実施されているか。		・学則
	2 日課表(時間割)に全ての教科目があるか。		・カリキュラム表
	3 休講の場合、別途補習授業を行っているか。		・シラバス
	4 授業以外の学校行事等を授業時間に加えていないか。		・講義記録
	5 教育の内容は、指定規則別表に定められているもの以上であること。	指定規則2条1項3号	
	6 別表各分野は、別添1に掲げる事項を習得させることを目的とした教育内容とすること。	指導要領5(1)	
	7 1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準する。 ・1単位の授業時間数は、講義及び演習は15時間～30時間	指導要領5(3)	

各科目毎に授業が確実に実施されているか。

日課表(時間割)に全ての教科目があるか。

	実習施設に実習を行う上で必要な機械器具を備えていること。	指導要領8(4)	
6	実習施設数は十分確保されているか。		
7	実習施設における実習人員は実習指導者1人につき、2人程度とすることが望ましい。	指導要領8(2)	
8	巡回指導の記録はあるか。		
9	実習の評価方法は適正か。		・実習指導要領
10	各実習施設につき、実習受け入れの承諾書があるか。	指導要領添付書類	・実習施設承諾書
11	実習施設における臨床実習について適当な指導者の指導が行われているか。	指定規則2条1項11号	
12	実習施設における実習指導者の要件 ・指導者は理学療法士であり、そのうち1人以上は免許を受けた後3年以上業務に従事した者であること。	指導要領8(1)	
13	実習指導者の資格にかかる免許等の登録証等資格を証明する		

1(1) 学校運営に関する自己点検評価 養成施設指定規則に対する法令順守状況

内部監査(教学監査)・・・学園職員による業務監査

- 学校運営・教育推進の業務内容が対象
 - 授業管理(出席簿、履修認定表等)、
 - 成績管理(評価表)、
 - 学外実習等(承諾書等)
- これらの書類が法令及び諸規定に則り、正しく作成保管されているかを確認。

1(2) 教育活動に関する自己点検・評価 「わかる授業」に関する活動、調査

- 西野学園では、平成11年度より「**わかる授業**」を学園の教育理念の中核とし、6項目からなる「わかる授業」を行うためのシステムを構築してきた。
- 日常的に「わかる授業」を検証することを目的に、次のような自己点検・評価活動を行っている。
 - 授業アンケート（授業点検・評価）
 - 学生、教員による授業アンケート、授業アンケートができるシート、公開授業
 - 公開授業（専任教員の授業点検、改善）

授業アンケート

- 各科目の最後の授業時に、学生へのアンケートを実施。
- 授業の進め方や指導方法、授業の満足度などをアンケート調査し、より良い授業作りへ活用しています。

授業アンケート

- 1 このアンケートは、授業内容の改善を目的として実施するものです。あなたの意見が、今後の授業改善に活かされます。率直な回答をお願いいたします。
- 2 質問は全部で 10 問あります。それぞれについて、「そう思う」～「普通」～「思わない」の程度を、5段階(⑤④③②①)から1つ選んで、マークシートの記入欄にマークしてください。
- 3 鉛筆(シャープペンシル)は、HB 以上の濃さのものを使用し、ボールペンやサインペンは絶対に使用しないでください。訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ☆この授業について、特に改善が必要な点など意見があれば、マークシート裏面に簡潔に書いてください。

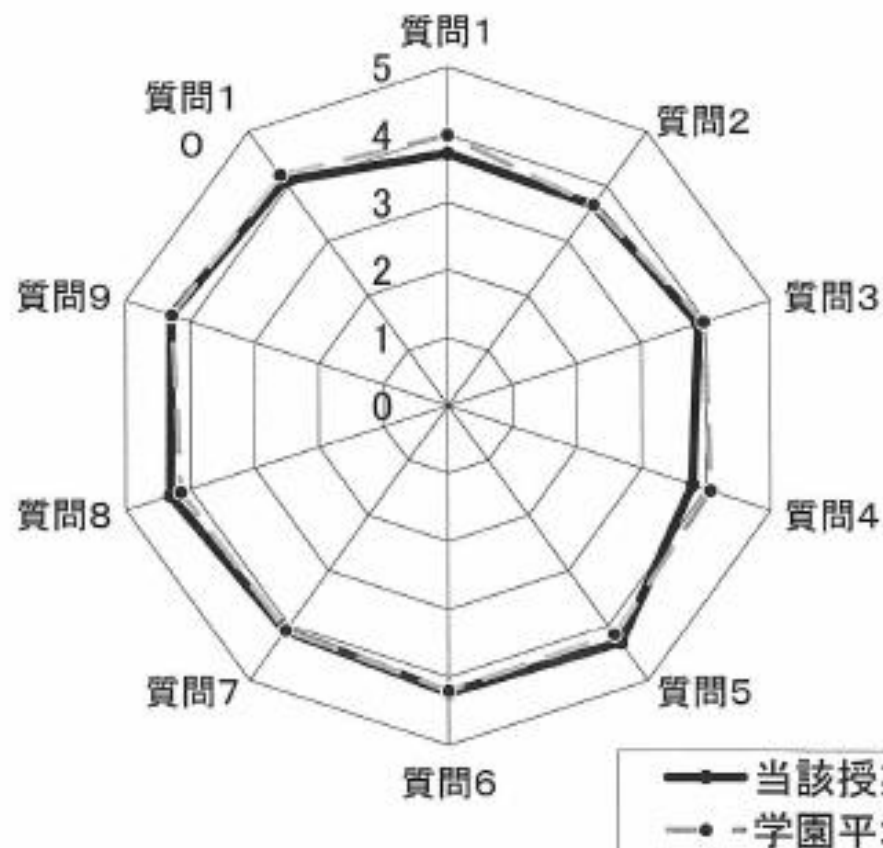
質 問 項 目	そう思う ← 普通 → そう思わない
1 あなたは、欠席、遅刻、居眠りをしないなど受講態度はよかったですか。	⑤-④-③-②-①
2 あなたは、予習、復習などをして授業へ積極的に参加しましたか。	⑤-④-③-②-①
3 シラバス、コマシラバスは、授業の目標、内容、キーワード、評価方法などを明示し、学習する上で役に立つものでしたか。	⑤-④-③-②-①
4 先生の話し方は明瞭で聞き取りやすく、授業を進める速さは適切でしたか。	⑤-④-③-②-①
5 先生は、黒板、パワーポイント、プリント等を有効に活用していましたか。	⑤-④-③-②-①
6 先生は、学生からの質問や疑問に丁寧にこたえていましたか。	⑤-④-③-②-①
7 先生は、一方的な授業をすることなく、話し合いの場を設けるなどして効果的に学生参加を促しましたか。	⑤-④-③-②-①
8 先生は、学生への問いかけや確認テストなどで知識の定着や理解度の確認をしながら授業を進めていましたか。	⑤-④-③-②-①
9 先生は、意欲や熱意を持って授業をしていましたか。	⑤-④-③-②-①
10 総合的に判断して、この授業は満足できるものでしたか。	⑤-④-③-②-①

	当該授業	学園平均
質問1	3.72	3.99
質問2	3.66	3.66
質問3	3.89	3.97
質問4	3.79	4.06
質問5	4.31	4.16
質問6	4.23	4.20
質問7	4.10	4.09
質問8	4.31	4.15
質問9	4.30	4.28
質問10	4.10	4.20
総平均	4.13	4.14

[備考]

※「総平均」は質問3から質問10までの平均値です。

※別添の「文章記述」は、学生が書いた原文をほぼそのままに短くまとめたものです。



No. 3

2015/3/26

7	学生参加を促しましたか。	23	23	13	2	
8	先生は、学生への問いかけや確認テストなどで知識の定着や理解度の確認をしながら授業を進めていましたか	33	19	5	3	1
9	先生は、意欲や熱意をもって授業をしていましたか。	29	23	7	2	
10	総合的に判断して、この授業は満足できるものでしたか。	27	19	10	4	1

AT

無
回答

外部アンケート 学生、教員に対するアンケート

「わかる授業」に関する学生アンケート

- 在籍する全学生に対して、「わかる授業」に関するアンケートを実施。

「わかる授業」に関する非常勤講師アンケート

- 在職する非常勤講師に対して、「西野学園FDプロジェクト」が中心となってアンケート調査

卒業生アンケート

- 卒業生に対するアンケート調査「卒業生のキャリアと学校評価に関する調査プロジェクト(H24)」

公開授業(FD、SD)

- 全ての専任教員が年1回の「公開授業」を実施。
 - 教員が互いの授業を見学。
 - 授業後の「授業検討会」で意見を出し合い授業改善。
-
- 本年度より、一部の非常勤講師についても、公開授業を実施し、授業内容や方法についての意見交換を進めています。



公開授業の評価項目、観点(抜粋)

授業環境	教室環境、出欠、遅刻者対応、授業規律
授業準備	配布資料、補助教材
前時の復習	学生のレディネス確認、理解度の把握
本時の目的	目的の説明、コマシラバスの活用
説明のわかりやすさ	姿勢、話し方、専門用語
板書	見易さ、配置・順序性、重要度の明示、消し方
教育機器	見易さ、効果
発問・理解度確認	<p>授業アンケートや公開授業等の自己点検活動は、同時にFD(Faculty Development)活動やSD(Stuff Development)としても機能する。</p>
学生の授業参加	
創意工夫	

(3)学校評価ガイドラインに基づく自己点検・評価

- 専修学校における学校評価ガイドライン 附属資料1
〔専門学校の評価項目・指標等を検討する際の視点となる例〕
- 自己評価の視点を次の**11分類**に分け、それぞれについて評価項目・指標等として考えられる例を附属資料1に例示してある。
- 各学校において重点的に評価したい内容を設定して自己評価を実施する。

- | | |
|------------|---------------|
| I. 教育理念・目標 | VII. 学生の受入れ募集 |
| II. 学校運営 | VIII. 財務 |
| III. 教育活動 | IX. 法令等の遵守 |
| IV. 学修成果 | X. 社会貢献・地域貢献 |
| V. 学生支援 | XI. 国際交流 |
| VI. 教育環境 | |

(3)学校評価ガイドラインに基づく自己点検・評価

専修学校における学校評価ガイドライン 附属資料1 〔専門学校の評価項目・指標等を検討する際の視点となる例〕

例

I 教育理念・目的

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
(専門分野の特性が明確になっているか)
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか
- 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか 等

専修学校における学校評価ガイドライン 附属資料1 〔専門学校の評価項目・指標等を検討する際の視点となる例〕

学生支援

- ・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ・ 学生相談に関する体制は整備されているか
- ・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ・ 学生の生活環境への支援は行われているか
- ・ 保護者と適切に連携しているか
- ・ 卒業生への支援体制はあるか
- ・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
- ・ 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか
等

(3)学校評価ガイドラインに基づく自己点検・評価の項目

質問数:10分野(国際協力を除く) 全37問

回答方法:学内グループウェア(アンケート機能)

評価段階:5段階

評価基準:適切-5 ほぼ適切-4 やや適切-3 不適切-2 わからない-1

自己評価項目		平成 25年 度 自己 評価 結果
I 教育理念・ 目標	1 理念・目標・育成人材は定められているか。	4.5
	2 社会のニーズ等を踏まえた学校の構想を抱いているか。	4.1
	3 理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	4.0
II 学校運営	4 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	4.1
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	3.9
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか。	3.9
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	3.7
	8 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3.8
	9 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.3
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.3

Ⅱ 学校運営	6	情報システム等による業務の効率化が図られているか。	3.9
	7	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	3.7
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3.8
	9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.3
	10	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.3

IV
学修成果

18 退学率の低減は図られているか。

3.7

19 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか。

3.8

20 学生相談に関する体制は整備されているか

3.8

21 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。

3.9

22 保護者と適切に連携しているか。

4.3

	22	体験学習が効果的に活用されているか。	4.0
V 学生支援	23	卒業生への支援体制はあるか。	4.2
	24	LHRなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか。	4.0
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.8
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	3.5
	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4.0

自己点検により見出された「学校の課題」

- 「卒業生」の評価と「卒業教育」への取り組みが期待される。
- 「社会のニーズをとらえた教育環境」「連携と協働」「情報公開」等、**学校運営上の課題**が提示された。
- 退学防止や自己発見、自己啓発等で、学生の「相談体制」や「経済支援」について検討が必要であった。

(4)事業所ヒアリング

(「現場が求めている人材」に関するヒアリング)

- 過去数年以内に就職実績のある病院・施設を訪問し、当校の卒業生の現状についてヒアリング調査(就職先との意見交換)を行っている。

質問項目

- 西野学園卒業生の特徴(課題、優れている点)
- 卒業生の能力が求める水準に達しているか。
- 基礎知識・技術、コミュニケーション力の水準。
- 研修会などに積極的に参加しているか。
- 病院施設が求める人材
- 事業所からの提案、要望

事業所からの意見

優れている点(省略)

一般的な今の若者像(省略)

西野学園卒業生の課題

- ホウレンソウが足りない。
- おとなしい。
- 学会や研修への参加、発表が消極的。
- 並立意識が強く、抜きに出ようという感覚がない。
- 専門分野以外の一般常識、社会知識が足りない。
- 叱られ慣れしていない(叱ると泣く、へこむ)。
- コスト意識希薄、提案が無い。

事業所からの意見

求める人材

- やる気のある人材、意欲的に向上心を持ち取り組む学生。
- 言葉使い、他人への配慮、社会人としてのマナー。
- 社会人としての素直さや謙虚さを身に付けてほしい。
- 多様なニーズに応じられる人材育成を望む。

事業所からの意見

提案・要望

- どのような専門職になるか学生時代から描くよう指導してほしい。
- 医療とはこういうものだということを体験させてほしい。
- 即戦力となる実践力という部分に特化した教育をしてほしい。
- 分からないままにしないで、積極的に聞いたり調べたりする姿勢を持ってほしい。
- 実習のカリキュラムや受け入れ方法が各学校でかなり違いが出て生きており、もう少し統一してほしい。

(※但し、この意見は卒業生個人の能力や事業所の状況を反映しているため、一般化してとらえられないかもしれない。)

自己点検・評価 まとめ

- 複数の点検・評価方法（自己点検、内部・外部アンケート等）で、多面的に評価を行うのが望ましい。
 - 教員、学生、非常勤講師等、複数の視点から客観的に評価を行う必要がある。
-
- 授業アンケートや公開授業等の自己点検活動は、同時にFD（Faculty Development）活動やSD（Staff Development）としても機能する。
 - 「学校評価ガイドライン」に基づく自己評価は定量化できる。
 - 事業所ヒアリングでは、学校に対して具体的な改善策や提案があった。
- ⇒さらに自己点検結果を、**学校関係者評価**により検証する。

2. 学校関係者評価

自己点検・評価の結果が適切か。

自己点検・評価を踏まえた改善方策が適切か。

を、学校関係者により評価していただく。

2(1) 学校関係者評価委員会の設置(職業実践専門課程)

規程の作成

学校関係者評価の目的と方法を定める。

第2条 札幌医学技術福祉歯科専門学校(以下「本校」という。)は、より実践的な職業教育を実施していくため、教育活動に関する、意見交換を通し、**学校の自己点検評価結果について評価**することを目的とした委員会を置く。

委員会の準備

- 自己点検評価報告書の作成
- 就任承諾書(外部委員本人の承諾)の作成
- 就任同意書(所属機関長の同意)の作成
- 委嘱状の作成

2(1) 学校関係者評価委員会の設置

委員の選任

- 学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民等とともに、企業等から委員が参画した学校関係者評価委員会を設置。

委員の選任

- 就任承諾書
- 就任同意書
- (推薦書)
- 委嘱状

第3条 委員会を構成する委員は、3名以上とし、
西野学園の職員以外の者で次に掲げる者の
うちから、校長が委嘱する。

- (1) 関連業界等関係者
- (2) 関係専門職団体
- (3) 地域住民
- (4) 卒業生又は保護者
- (5) その他教育に関する有識者

所 属	規程該当番号
元北海道札幌東高等学校 校長	第3条(5)
札幌医科大学附属病院 検査部主任技師	第3条(1)(4)
医療法人社団 祐川整形外科医院リハビリテーション科 科長	第3条(1)
社会福祉法人ほくろう福祉協会 理事長	第3条(1)
公益社団法人北海道臨床工学技士会 会長 (札幌医科大学付属病院)	第3条(1)(2)(4)
北海道言語聴覚士会 副会長 (医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院)	第3条(1)(2)
医療法人社団 デンタルクリニック大通り 理事長	第3条(1)
札幌市中央区西第八町内会 会長	第3条(3)

第3条 委員会を構成する委員は、3名以上とし、西野学園の職員以外の者で次に掲げる者のうちから、校長が委嘱する。

- (1) 関連業界等関係者
- (2) 関係専門職団体
- (3) 地域住民
- (4) 卒業生又は保護者
- (5) その他教育に関する有識者

2(2) 学校関係者評価の実施

- 学校関係者評価委員会の開催
- 委員会を少なくとも年2回実施
 - 自己点検・評価の結果について報告(第1回)
 - 各委員からの意見を意見交換(第1回、第2回)
 - 委員会の意見に基づき具体的な改善を実施
 - 改善結果を報告(第2回、第3回)
- 報告書の作成、評価結果の公表

⇒PDCAサイクルによる質保証・向上の取組

学校関係者評価委員会 報告書

- 自己評価結果とその改善策について、学校関係者評価の結果を併記した。

平成25年度自己評価結果および平成26年度学校関係者評価結果

札幌医学技術福祉歯科専門学校

自己評価項目		平成25年度自己評価結果	平成26年度学校関係者評価結果
I 教育理念・目標	1 理念・目標・育成人材は定められているか。	4.5	●社会のニーズ等を踏まえた学校の中長期計画の中で、学生確保や学校の将来像を構築している。 ●教育理念(探究・創造・貢献)、育成人材については教育目標中で定められ、学生には入学オリエンテーション時、保護者には保護者懇談会等で周知されている。
	2 社会のニーズ等を踏まえた学校の構想を抱いているか。	4.1	
	3 理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	4.0	

II 学校運営	6	情報システム等による業務の効率化が図られているか。		●教員が学科の枠を越えて相互に授業を行う体制ができつつあり、今後は一層の連携・協働体制が図られることが期待される。
	7	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	3.7	●在校生のほか、受験生、保護者、事業所等といった外部に対する情報提供の充実を今後も図っていくことが望まれる。
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3.8	
III 教育活動	9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.3	●各科とも教育目標や育成像は教育計画や学生便覧に明確に示されており、学習時間の確保についても法令に則り明確にされている。
	10	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.3	●学則や教務規定により業務は適切に運営されている。 ●入学式、卒業式のほか、学生の自治組織である校友会が中心となり、運動会、新入生歓迎会、バスハイク等が企画、運営された。
	11	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか。	4.2	●実習先および就職先への「事業所ヒアリング」や実習指導者会議を実施し、現場の実情を踏まえた教育課程の見直しを行っている。
	12	関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直し行われているか。	3.9	●授業終了後、学生に対し5段階評価の授業アンケートを実施し、そのアンケートは教育支援室で集約・分析され、その結果は各教員にフィードバックしている。また、公開授業を年1回(初任者は4回)実施し、他者評価を受け授業改善に役立

IV 学修成果	18	退学率の低減は図られているか。	3.7	の個別対応、支援が求められる。
	19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか。	3.8	●学科の枠を越えた同窓会活動の充実を図り、今後より求められる多職種との連携や技能習得の拠点として社会的ニーズに応えていくことを検討すべきである。
V 学生支援	20	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8	●クラス担任制をとり、個人面談を随時実施しているほか、学校生活や学業におけるさまざまな助言を行っている。 ●日本学生支援機構の奨学金のほか、経済的に厳しい学生に対して西野学園学費支援制度を設けている。
	21	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	3.9	●学校と保護者との連携として、適宜保護者懇談会を実施しているほか、出席状況等は長期休業前に送付している。また、学業や私生活で問題ある学生には電話連絡や保護者面談を実施し、適切に連携している。
	22	保護者と適切に連携しているか。	4.3	
	23	卒業生への支援体制はあるか。	4.2	●在学時のみならず、卒業後の再就職サポートや臨床検査技師科同窓会での技術講習会など、特筆すべき独自の取り組みがある。
	24	LHRなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか。	4.0	●専門業者により教室等の環境測定(CO2濃度等)や有害動物等の駆除を定期的に行っている。
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.8	●卒業生や現場の第一線で活躍する非常勤講師による講義などで「求められる人材像」や職業観の育成は日常から行われている。その中で自己啓発や自己実現を促しているが、今後更に強化していく必要がある。
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	3.5	

2(3)評価結果の活用

学校関係者評価報告書(総括)

- **国家資格**の取得と**就職**に向けての学生個人への指導対応がなされている。
- 在学中だけではなく、**卒業後も学校との繋がり**を保てる取り組みもなされている。
- 今後は全ての卒業生が**再教育や多職種連携の場**として学校を活用できる方策が望まれる。
- また地域の一員として、高齢化社会を支える**コミュニティの一員としての役割**も望まれている。
- 学校行事への**地域住民参加**や地域住民への「あいさつ」の励行など、**学校の持つ価値を再認識**することが教育上も意義のあることと思われる。

2(3)評価結果の活用

学校関係者評価に対する改善内容

- 計画策定や、カリキュラム検討に際して他職種連携に関する意見を反映させる。
- 学校祭、地域交流授業、学校開放、卒業教育等については委員からの要望が強かったため、社会・地域貢献の一環として、今年度もさらに内容を深化させ実施する。
- 学生相談体制の確立、経済支援についてより積極的に取り組む。

他職種連携の学生研修プロジェクト、卒業生への学校開放
学校行事、地域交流、外部イベント、図書館開放
カウンセラーの設置、経済特別支援(道事業)

学校関係者評価に関する所感

- 自己点検・評価の結果については全般的に一定の理解を得ることが出来た。
- 企業等委員から、在校生、卒業生の現状について、率直な意見を伺うことができた。
- 外部の視点から**学校の課題**や**社会の要請**について意見を聞くことができた。
- 企業や地域社会が求める人材像が提示され、学校の教育目標の検討に有益であった。

参考. 第3者評価

専門的な見地から学校の課題や対応を評価。

北海道学事課による指導調査(H27)

- 北海道保健福祉部が所管する養成所等に対する指導調査
- 指定規則等の遵守状況について確認
- 指導・助言等を行うことにより、養成所等の適正な運営の推進を図ることを目的とする。
 - (1) 学則等の内容に関する事項
 - (2) 変更申請及び届出手続並びに定期報告に関する事項
 - (3) 教員に関する事項
 - (4) 学生に関する事項
 - (5) 教育に関する事項
 - (6) 成績評価及び履修認定に関する事項
 - (7) 施設設備等に関する事項
 - (8) その他養成所等の適正運営のため必要な事項

3 指導調査の担当課及び対象とする養成所等

(1) 医務薬務課看護政策グループ

(2) 医務薬務課医務薬務グループ

臨床検査技師養成所、理学療法士養成施設、
作業療法士養成施設、臨床工学技士養成所、言語聴覚士養成所

(3) 地域医療課救急医療グループ

(4) 地域保健課地域保健グループ

歯科衛生士養成所

(5) 福祉援護課福祉基盤グループ

介護福祉士養成施設、介護福祉士実務者養成施設、
社会福祉士養成施設、社会福祉主事養成機関

(6) 食品衛生課生活衛生グループ

第3者評価機関による監査

- 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
- 養成施設概要と教育内容(教員、教育科目、臨床実習)に関する書面調査
- 申請に基づく教育内容
- 書面調査での未確認事項の確認
- 教育環境の視察・確認

まとめ

自己点検・評価 まとめ

- 複数の点検・評価方法（自己点検、内部・外部アンケート等）で、多面的に評価を行うのが望ましい。
 - 教員、学生、非常勤講師等、複数の視点から客観的に評価を行う必要がある。
-
- 授業アンケートや公開授業等の自己点検活動は、同時にFD（Faculty Development）活動やSD（Staff Development）としても機能する。
 - 「学校評価ガイドライン」に基づく自己評価は定量化できる。
 - 事業所ヒアリングでは、学校に対して具体的な改善策や提案があった。
- ⇒さらに自己点検結果を、**学校関係者評価**により検証する。

学校関係者評価

- 計画策定や、カリキュラム検討に際して**他職種連携**に関する意見を反映させる。
- **学校祭、地域交流授業、学校開放、卒後教育**等については委員からの要望が強かったため、**社会・地域貢献**の一環として、今年度もさらに内容を深化させ実施する。
- 学生**相談体制**の確立、**経済支援**についてより積極的に取り組む。

今後の課題

- 卒業生等の調査、卒後教育への活用
- 学校間の調整、比較
- 自己点検評価、学校関係者評価の継続
- 第3者評価の実施